

株式会社南九州マツダ



本社の全景

＜主な業務内容＞
●乗用車・商用車の新車・中古車販売
部品・用品等の販売、自動車整備業
損害保険代理業
＜EA21登録日＞
2010年3月



自動車整備工場

今回お邪魔したのは、鹿児島市新栄町にある株式会社南九州マツダです。

マツダブランドの乗用車・商用車の販売事業等を、熊本県下 10 事業所、宮崎県下 10 事業所、鹿児島県下 11 事業所で展開し、全ての事業所が EA21 登録対象として、環境配慮経営に取り組んでいます。

きっかけ

2009 年 [マツダ株式会社](#) から、マツダ車の販売会社に対し、EA21 を導入して環境経営に取り組むようにとの要請が出され、株式会社南九州マツダでは、販売会社の中でもいち早く EA21 を導入しました。

環境配慮と人馬一体の走りを徹底して極め設計された [SKYACTIV テクノロジー](#) 搭載車の販売比率を高め、事業所では省エネ・廃棄物削減など環境負荷削減を推進し、お客様にもエコドライブなどのご紹介をすることにより、社会と企業での環境保全・改善に取り組んでいます。



スポーツカー・ロードスター

環境活動を推進することにより、社員の意識が高まり
いろいろな提案が出され、それらの良い改善事例は他店にも横展開して効果を上げています。

最近では、黒で統一したデザインの環境配慮の新店舗に順次転換中です。

環境改善の取組み

1. 環境配慮車の販売増

燃費や大気汚染対応が向上した SKYACTIV テクノロジー搭載車の販売に努め、比率は93%に高まっています。

店舗では、お客様にエコドライブ10ヶ条など車の乗り方についてもお話して喜ばれています。



店舗でエコドライブ方法等のご紹介

2. 省エネ（電気・車燃料）、水

エアコンの設定温度や使用時間、照明の不要時の消灯など基本的な項目は実践し、定期点検で確認しています。

順次新店舗に転換中であり、窓・LED照明・人感センサ付きトイレなど環境配慮型に変わっています。

また、お客様来店比率の向上や車両点検時のお客様への貸出車のディーゼル車への変更などにも努めています。



廃棄物保管庫

3. 廃棄物削減

自動車整備などで排出されるタイヤ・プラスチック・バッテリーなど産業廃棄物や一般廃棄物は事業所ごとに統一された廃棄物保管庫を設置して管理しています。



少量危険物倉庫

4. リスク管理

自動車整備工場では、機械油や化学物質を使用するため安全な使用と保管また漏れには十分配慮しており、少量危険物倉庫・油水分離層の設置や漏洩時の緊急対応方法を明確にして定期的にテストしています。

これからの環境活動

基本的な環境活動は定着してきましたが、さらに [EA21 新ガイドライン](#) にも盛り込まれる環境経営視点の強化またCSRや生物多様性や自然保護などに対応できるよう環境教育等人材育成の充実・強化を図っています。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。